

横田地域学校再編統合推進委員会
第2回通学部会

日時：令和4年12月15日（木）19:00～20:10
場所：雲州算盤伝統産業会館2階 大研修室

部長あいさつ

〔協議事項〕

1 バス通学について

（事務局説明）

- ・現在の考え方を別紙表の通り整理した。
- ・馬木地区については、登校時は大馬木経路（案）、小馬木経路（案）の2便運用を別紙図のとおり検討している。
- ・通学部会の検討内容（通学方法や放課後児童クラブの運用について）は、今年度中に結論を出すものではない。引き続き校区との意見交換を続けたいので、今回の資料についての校区意見を第3回部会で伺いたいと考えている。

【質疑】 ＊要旨

- ・鳥上小校区で横田小へ通っている児童の通学方法はどうなるのか。
→ 令和6年度からバス通学となる。
- ・鳥上小校区児童の放課後児童クラブについてはどうなるのか。
→ 鳥上地区内に受け入れ体制が構築できれば、令和6年度以降に鳥上地区内にて受け入れる可能性はある。
- ・バスダイヤが提案の時刻のままだと、学校運営はかなり慌ただしくなる。登校時刻、下校時刻とも余裕の持てるダイヤにしてほしい。
→ 実際のダイヤは学校運営を踏まえながら、地域公共交通会議にて決定することとなるので、今後調整していく。考え方としては、各地区への下校便は3時便、4時便、5時便を確保する。
- ・帰りのバスは、乗る路線を固定する考えか。八川、馬木についてはどちらの路線に乗っても帰ることができる児童がいる。乗るバスが決まっている方が混乱が少ないと思われる。
→ 学校現場と相談し今後整理する。どのバスに乗れば良いか一目でわかるような工夫も必要と思われる。
- ・バス待合所の整備に一括交付金とあるが、どのようなものか。
→ 毎年、地区に交付されている交付金で、待合所整備専用のものではない。以前は、地区で必要と判断したバス停の待合所について、一括交付金を工面して整備された例もある。

- ・バスの増便を奥出雲交通で調整し不可能なときは別手段で対応とあるが、別手段で行うと決定するタイムリミットを決めているのか。
 - タイムリミットは決めていない。町としては「どのような状況であっても通学手段を確保し、保護者に負担を強いることはない」ことを伝えるために記載している。
- ・定期券購入に対する補助があるのか。
 - 中学生と同様に定期券は配布することとしているので、保護者負担はない。
- ・保護者の判断で自家用車で通学させることは可能か。バス通学と自家用車通学を選択させる考えがあるか。
 - 町として、その判断を否定はしない。選択制については、今のところ考えていない。
- ・バス通学について、中学生の例であるが、車内が混雑することを子どもが嫌がり自家用車で送りはじめたところ、バスに乗らなくなった。
- ・中学校の校門前に保護者が乗り付け、周辺住民の通勤等に支障があるような話も聞いている。下校時も同様な現象があり、高校についても同様とのこと。バスの邪魔にならない場所に停車させるなど（自家用車通学についての）対応を考えるべきはないか。
- ・第一義的には「バスで通学する」ことが基本になるのではないかと思うが、いろいろな考え方がある。学校の立場からすれば通学方法が明確に決まっている方が運営がしやすい面はある。今日はバス通学、明日は自家用車通学となると、緊急対応の場合など混乱することを懸念する。
 - 中学生の現状として自家用車通学の事例があることは認識しているが、町として自家用車通学に対し許可・制限をしたことはないとも認識している。引き続き通学部会にて検討させていただきたい。
- ・放課後児童クラブへの路線が登校時の路線と異なる場合、定期券は路線毎に必要なものか。
 - 1つの定期券で乗ることを想定している。そのように準備したい。

2 その他

(事務局説明)

- ・放課後児童クラブについては、第1回部会でも様々なご意見をいただいたが、現場と学校再編推進課で課題等を整理した上で、部会の場で検討させていただきたい。
- ・八川の保護者の中から、横田小学校で児童クラブを運営してもらえないかという声があった。「(例えば)体調が悪いときにどこへ迎えに行ったらよいかなど保護者が混乱しないような運営ができるか心配」「施設(現幼稚園)は全て幼児サイズであるため、小学校施設の方が小学生にとってはよいと思う」とのことであった。
- ・事務局と学校現場で調整できるところ(バスの学校への発着時刻など)は、事前にして調整した上で部会を開催してほしい。2度手間であると感じる。

◆次回：令和5年2月下旬（候補日：2/20、2/21、2/24） 19：00～
会場：雲州算盤伝統産業会館

*委員の皆さんには、確定後改めて連絡します。